



「食と緑」のパートナー養成 松戸カレッジリンク講座 2019

カレッジリンク・プログラムとは、地域の方と大学生と一緒にワークショップ形式で学ぶ、千葉大学独自の新しい学習プログラム。誰でも参加可能で、修了者には千葉大学長名の履修証明書も発行されます。

■主旨・目的

松戸では松戸駅からキャンパスまで、今「食べられる景観の散策路」(Edible Way)を進めています。園芸学部の特徴の「食と緑」をもっとまち全体に広げるための楽しく、多くの人が関わる仕掛けを市民と学生で考えようとしています。今年はこのテーマで3年目。SDGs(持続可能な開発目標)に貢献する食べられる景観を今年は考えたいと思います。

■コーディネーター 木下 勇(園芸学部 教授)

■内容(予定)

①10月26日(土)9:00-13:10 園芸学部E棟1階 学生ホール
木下勇教授&江口亜維子とみどりの回廊学生WG

テーマ: 子どもの柿泥棒は持続可能な社会?

あなたは子どもの時、柿泥棒をしたことがありますか?
柿泥棒から学ぶ地域社会と人のつながり・食べられる景観

②11月16日(土)9:00-12:10 園芸学部 緑風会館 第1談話室
野村昌史准教授

テーマ: 昆虫たちとの共存: 環境に優しい害虫管理

農業現場における新たな害虫管理を紹介し、一緒に学内の昆虫を探索します。

③11月16日(土)13:30-16:30 園芸学部 緑風会館 第1談話室
秋田典子准教授

テーマ: 松戸中央公園を楽しくするには

松戸の新しい拠点の核となる松戸中央公園をより楽しい空間にするための方法について、国内外の最新のパークマネジメントの事例を踏まえながら、参加者全員で検討します。

④⑤11月30日(土)9:00-16:30 (2回分連続。休憩時間、昼休みを含む)
場所: 21世紀の森と広場および同パークセンター

柳井重人准教授と三島孔明准教授

テーマ: 里山保全型の都市公園における「食と農」への取り組みの提案

かつての里山的な環境を活かした松戸市の代表的な都市公園である「21世の森と広場」(特に「みどりの里」と「生命の森」)を対象に、「食と農」への取り組みの推進とマネジメントにかかわる提案を行います。現地踏査、公園管理担当者の解説、事例紹介を踏まえて、参加者全員で検討を進めます。

協力: 榎本孝芳 (NPO クリエイティブまつど工房)

受講申し込み・問合せ先・受講料について

申し込みの締め切りは7月15日です

(基本、原則、全回参加ですが、もし都合悪い日が1、2回ありましたらご相談ください)

千葉大学学生

千葉大学大学院園芸学研究科 木下勇
isamikinoshita@faculty.chiba-u.jp へご連絡ください。
授業として開講しますので、受講料は無料です。

一般市民の皆様 千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム事務局

E-MAIL: ccrc@chiba-u.jp へご連絡ください。

受講料は1万円のところ、昨年度に続き特別割引価格 5,000円 協力: 松戸市 (政策推進課)

